

総合型選抜対策講座①

文教大学 国際学部 国際理解学科

(課題遂行型出願向け)
課題への取り組み方について

2023年6月25日(日)

BUNGYO UNIVERSITY



渡邊 暁子(わたなべ・あきこ)

文教大学 国際学部 国際理解学科 准教授
(専門分野: 東南アジア地域研究、文化人類学)

- ・「移民と難民」、「持続可能な世界」、「ボランティア入門」などの授業を担当。
- ・中学3年生まで4年半を米国で過ごし、大学院のフィールドワークで計4年間フィリピン、2009年から毎年ドバイなどの湾岸アラブ諸国にて調査研究をおこなっている。
- ・移民、難民、紛争、マイノリティ、イスラーム、女性、貧困といったことに関心を持つ。
- ・趣味は、テニス、ヨガ、自然散策などアウトドア派。

総合型選抜対策講座のスケジュール

- 6月25日（日）課題図書を選び方・読み方について
- 7月16日（日）事前課題（レポート）の取り組み方
- 8月20日（日）プレゼンテーション資料作成のポイント
- 9月17日（日）試験当日に向けた対策について

きょうのメニュー

1 国際学部の総合型選抜について

- ・アドミッションポリシーとは
- ・2つの出願形式(課題遂行型、資格優先型)

2 スケジュールの確認

- ・準備/出願→受験→合格発表までの流れ

3 課題遂行型の事前課題への取り組み方について

- ・課題遂行型の事前課題の確認
- ・課題図書について
- ・4冊のうち、どの1冊を選ぶか
- ・選んだ一冊をどう読むか～レポート作成に向けての第一歩～

1 国際学部の総合型選抜について

*詳細は2024年度『文教大学入学試験要項(総合型選抜)』をご覧ください。

アドミッションポリシーとは

国際学部は、次のような学生の入学を期待しています。

1. 国際社会で生じている多様な問題に関心を持ち、国際理解や国際観光の学びを通じて積極的に社会貢献したいと考えている人
2. 英語を主とする外国語コミュニケーション能力を高めるとともに、社会への理解を深めて国際社会と地域社会の課題解決に貢献したいという意欲を持つ人
3. 旅行、宿泊、交通などの観光ビジネスや地域づくりに関心を持ち、国際観光を通じて社会への貢献をしたいという意欲を持つ人
4. 世界のいろいろな現場で求められる多様な「リーダー」の重要性を理解し、「人を育てる私」になる自覚をもって学修する意欲を持つ人

【国際理解学科】

1. 英語を主とする外国語コミュニケーション能力を高めるとともに、社会への理解を深めて国際社会と地域社会の課題解決に貢献したいという意欲を持つ人
2. 世界の地理、歴史、文化、言語に関する基礎知識を有している人
3. 高等学校までの学習において、正課外活動を通じて、地域社会の課題解決にかかわった経験がある人

学んできてほしい内容

【国際学部】

1. 世界の歴史、文化、言語に関する基礎知識
2. 国際観光や国際交流の体験や学習経験
3. 基礎的なコミュニケーションスキル

【国際理解学科】

1. 世界の地理歴史、政治経済、文化、言語に関する基礎知識
2. 英語を主とした基礎的な外国語コミュニケーションスキル
3. 国際交流などの体験や学習経験

(総合型選抜) 入学者選抜の基本方針: 国際理解学科

本学科が求める学生像を理解し、将来のビジョンに沿って意欲的に学修に取り組める入学者を選抜することを目的とします。

出願書類とプレゼンテーションによって、大学教育を受けるために必要な学力の3要素(「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」)を総合的に評価します。

具体的には、将来のビジョン、学修意欲、表現力、コミュニケーション力、判断力、高校での学習・諸活動の状況などを評価します。

課題遂行型においては、特に自ら国際社会や地域社会に関わる問題を設定し、その解決策を考えることができる力、自分の考えを相手に伝える力を評価します。

資格優先型においては、特に外国語コミュニケーション能力を評価します。

資格優先型(国際観光学科と共通)

(1)選考方法

書類審査・口頭試問をもとに総合的に評価します。口頭試問は英語と日本語で行います。

(2)出願要件 資格一覧

以下の①～⑧のいずれかの要件を満たす者

- ①実用英語技能検定(CBTを含む)において、2級以上の合格者で、かつ英検CSEスコア1980点以上の者
- ②TOEFL iBT®において、42点以上の者
- ③TOEIC® Listening&Reading/Speaking&Writingにおいて、1150点以上の者
- ④GTEC CBTにおいて、930点以上の者
- ⑤ケンブリッジ英語検定において、140点以上の者
- ⑥IELTS(Academic Module)において、4.0点以上の者
- ⑦日本英語検定協会の実施するTEAPにおいて、225点以上の者
- ⑧日本英語検定協会の実施するTEAP CBTにおいて、420点以上の者



2 スケジュールの確認

(準備/出願→受験→合格発表までの流れ)

総合型選抜入試のスケジュール

2023年 9月 1日(金) ～9月 8日(金)	課題遂行型、資格優先型(1期) 出願期間	
9月20日(水) ～9月27日(水)	課題遂行型 レポート提出期間	
10月15日(日)	課題遂行型、資格優先型(1期) 試験日	* 10月14日(土)は予備日
10月 25日(水) ～11月 2日(木)	資格優先型(2期) 出願期間	
11月 1日(水)	課題遂行型、資格優先型(1期) 合格発表	
12月 3日(日)	資格優先型(2期) 試験日	* 12月2日(土)は予備日
12月11日(月)	資格優先型(2期) 合格発表	



課題優先型で出願する学生は、夏休み期間に、課題図書を選び、それをしっかり読んで、事前課題に取り組むことをおすすめします！

3 課題遂行型の事前課題への取り組み方について

以下の4つの課題図書の中から1冊を選び、事前課題に取り組みます。

平賀緑『食べものから学ぶ世界史——人も自然も壊さない経済とは？』

(岩波書店、2021年)[岩波ジュニア新書]

上野千鶴子『女の子はどう生きるか——教えて上野先生！』

(岩波書店、2021年)[岩波ジュニア新書]

白井恭弘『外国語学習の科学——第二言語習得論とは何か』

(岩波書店、2008年)[岩波新書]

南博・稲場雅紀『SDGs——危機の時代の羅針盤』

(岩波書店、2020年)[岩波新書]

* 課題図書は、書店などから購入するか、図書館から借りて読むなど、各自で入手してください。

事前課題

- 1) 課題図書の中から選んだ本を読み、2000字程度のレポートを書いてください。
- 2) その上で、読んだ本のテーマに関連する、もしくはそのテーマを発展させた、わたしたちが現在直面している問題(※)を具体的に取り上げたプレゼンテーション資料(※※)をつくり、それをもとに試験当日発表をしてください。

(※) 例えば日本社会が抱えている問題、世界各国が共通して直面している問題など

(※※) パワーポイント、ポスターなど

2023年度国際理解学科 課題遂行型課題

課題図書(新書4冊)の中から1冊を選び、
それを読んで事前課題に取り組む！

レポート(2000字程度)

+

プレゼンテーション資料作成

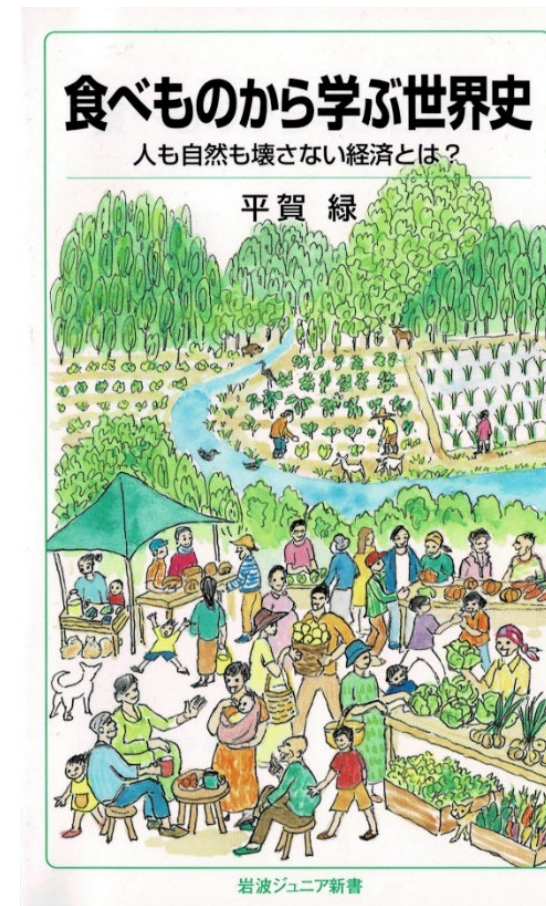


レポートは指定された提出期限までに送付、
プレゼンテーション資料は試験当日に
持参してください。

平賀緑『食べものから学ぶ世界史——人も自然も壊さない経済とは？』

砂糖、小麦、豚肉、インスタントラーメンといった身近な食べ物やその原材料などを手掛かりに、世界経済の歴史やその仕組みについて分かりやすく説明する一冊。

グローバル化、気候変動、パンデミックなどの問題も視野に入れています。



上野千鶴子『女の子はどう生きるか——教えて上野先生！』

学校、家庭、結婚、就職など、社会の中で、女の子(女子、女性)が「モヤモヤ」しているさまざまな問題について考えるヒントが溢れる内容です。

共にジェンダー平等、多様な生き方を求める男の子(男子、男性)にもぜひ手にとってもらいたい本です。



白井恭弘『外国語学習の科学——第二言語習得論とは何か』

外国語に興味がある・将来語学教員を目指したい受験生にお勧めの、2008年出版の「古典」。

当時の大学入試センター試験に触れるなど、やや古い情報を含むものの、ことばを学ぶエッセンスが詰まっています。

タイトルは硬めですが、分かりやすい文章で書かれています。

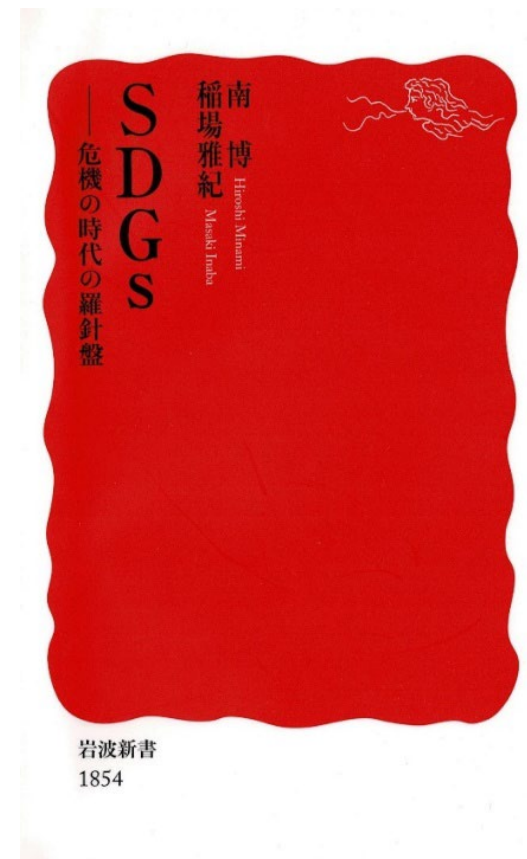


南博・稲場雅紀『SDGs——危機の時代の羅針盤』

SDGs(持続可能な開発目標)は、現在の日本でもさまざまな取り組みがされています。

国際学部の「学び」やほかの3冊の本の内容とも無関係ではありません。

そのSDGsの国連で合意に至るまでの経緯、本来の目標の意義などを、開発に関わる専門家が整理した内容です。



本の選び方①

- ・課題図書であげた4冊は、いずれも国際理解学科で学ぶ「国際学」につながる内容をテーマにしています。
- ・課題図書の4冊のタイトルやざっくりした内容をながめながら、みなさんが文教大学国際学部で何を学びたいかをまず考えましょう。
- ・レポートはもちろん、プレゼンテーション資料作成にあたって、選んだ一冊をじっくり読み、まずその内容を理解することが求められます。そのためにも本選びはしっかり行いましょう。
- ・本のタイトルだけで判断して、インターネットで注文するという方法もありますが、おススメは本を高校や自宅近くの図書館、あるいは書店などで探して、まず手にとってページをめくってみましょう。

本の選び方②

- ・目次を見て、本の章立てを確認することは重要です、なぜなら、その本がどのようなことが書かれている本なのかという、おおよそのめやすがつくからです。
- ・著者がどのような人か、プロフィールを見て確認します。
- ・できれば、「まえがき(はじめに)」「あとがき(おわりに)」をさっと目を通しましょう。
- ・本にも相性があります。選んだ本の内容が難しい、書かれていることが、ずっと頭に入ってこないときは、ほかの課題図書も検討しましょう。

以上は個人の意見です。

みなさんのまわりにいる「読書の達人」(家族や、学校、塾の先生など)からも、本選びの意見・助言を聞いてみてください!

本の読み方①

本の読み方はどれが正しいと決まっているわけではありません。

ただし、学習用には少なくとも3つの読み方を意識したほうがよいでしょう
(英文を読む場合も同じ)。

(必要な情報を得る)「拾い読み」(Scanning)

(大まかな内容をすくう)「速読」(Skimming)

(じっくり読む)「精読」(Careful Reading)



本の読み方②

- ・最初から順番に読むのではなく、おもしろそうな章から読む方法でも全く構いません。
- ・そもそも最初から最後まで全部しっかり読み込もうと気張ると、途中でくたびれてしまいます。まずは目次をながめて、本の大きな流れをおさえながら、少しずつ読み進めていきましょう。
- ・ひと通り読んで、著者の「言いたいこと＝メッセージ」がざっくりとでも分かれば「御の字」(しめしめ!)。よく分からなくても心配しないでください(一度読んだだけではよく分からないことのほうが多いのです)。
- ・本のテーマに関連する、もしくはそのテーマを発展させた、わたしたちが現在直面している問題(例えば日本社会が抱えている問題、世界各国が共通して直面している問題など)について急いで取りかかるよりも、まずは選んだ一冊をじっくり読むことが重要です。

7月16日(日)第2回オープンキャンパス 総合型選抜対策講座② 「事前課題(レポート)の取り組み方」

* 選んだ一冊を、自分なりにさっとひと通り読んで参加ください。
(もちろん、まだ本を1冊選びきれていなくても、最後まで読んでいなくても構いません。)



国際学部の総合型選抜(課題遂行型・資格優先型)についての質問は、
下記アドレスまでメールでお問い合わせください。
(氏名、高校名、志望学科は必ず記載してください！)

kokusai-sogo@bunkyo.ac.jp

国際学部の教員チームがお答えします。

文教大学のHPだけではなく **国際学部のHP** もぜひ見てください。

QRコード →



トップページ右上の「国際学部を受験する皆さんへ」のボタンをクリック
→ 「国際学部入試情報」のページへ

- ・受験生からよくある質問に答えた(Q&A)があります。
- ・課題遂行型対策講座の資料も同ページに掲載する予定です。